

石岡のおまつり

(常陸國總社宮例大祭)

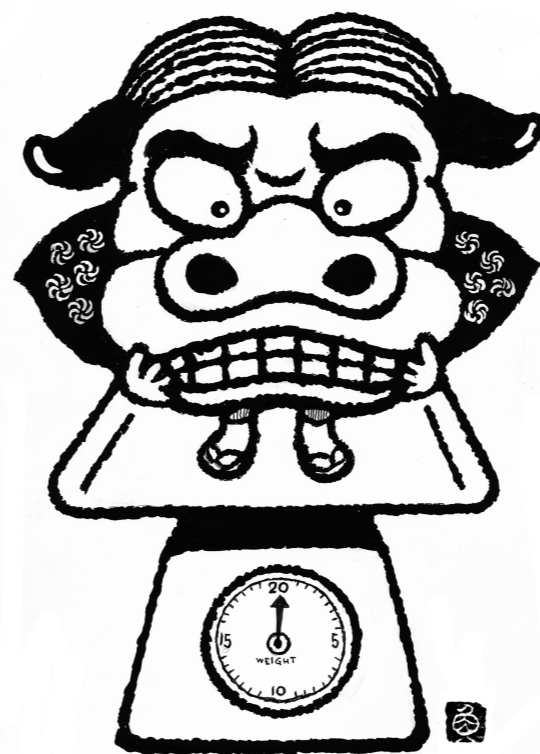
—— 石岡市中心市街地

茨城に秋の訪れを告げるお祭りのひとつは「石岡のおまつり」です。川越の氷川祭、佐原の大祭とともに関東三大祭りのひとつに数えられる「石岡のおまつり」はその勇壮さ、規模、華やかさで、三日間の期間中、約40万人の人出で賑わいを見せます。

正式には「常陸國總社宮例大祭」という名称で、幌獅子、神楽、山車、神輿、さらさらなどが繰り出し、日本の民族芸能のオンパレードとなる見ごたえのあるお祭りです。

祭りは、毎年15の町内が年番で祭りの中心的な役割を果たし、年番の町内に御仮殿が設けられます。總社宮のご神体が神輿でこの御仮殿へ渡御するのが初日の「神幸祭」です。

二日目は「奉祝祭」で祭りのボルテージが最高潮に達します。各町内の幌獅子、山車が繰り出し、總社宮では奉納相撲や神楽殿での舞や神楽が奉納されて、石岡の町は祭り一色に埋め尽くされます。



この祭りの花形の幌獅子は全国的にも珍しいもので、20kgもある大きな獅子頭を一人がかぶり、舞いながら進みます。その後ろには車輪を付けた車体が引かれ、その上に小屋が設けられ、そこでお囃子が賑やかに曲を奏でます。

ほかにもひよつとこやおかめ、きつねなど「祭面」をかぶった踊り手が滑稽な踊りを披露し、人々の顔には笑いが溢れます。

最終日、御神体が總社宮へとお帰りになる「還幸祭」は、町内で披露された出し物が所定の位置に整列し、神輿のお帰りを待つ、厳粛なシーンが訪れます。御神体が本殿へと戻ると、神事に続き年番の引継ぎが行われ、静かに祭りはフィナーレを迎えるのです。

古くから常陸国の中心地として栄え、行政や商業の中心となっていた石岡。レトロな町並みとともに古き良き日本人の伝統を垣間見ることができる「石岡のおまつり」は、ぜひ一度は見えてみる価値があります。



平成24年度 石岡のおまつり
9月15、16、17日



【問合せ先】石岡市商工観光課 TEL.0299-43-1111
【所在地】石岡市総社2-8-1(常陸國總社宮)
【アクセス】JR常磐線「石岡駅」利用。駅前から祭り会場が続く。
※祭り期間中、市内中心部は通行止め。

「運ぶ」を支え、環境と未来をひらく

ISUZU 茨城いすゞ自動車株式会社

本社 / 〒310-0063 水戸市五軒町1-2-5 ☎029-225-1215(大代) <http://www.ibaraki-isuzu.co.jp>